

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年12月10日(2020.12.10)

【公表番号】特表2020-508291(P2020-508291A)

【公表日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-011

【出願番号】特願2019-541420(P2019-541420)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|--------|-----------|
| A 6 1 K | 9/50 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 47/44 | (2017.01) |
| A 6 1 K | 47/14 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 47/12 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/07 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/122 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/015 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/375 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 45/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 47/26 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/355 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/592 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/593 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/11 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/232 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/12 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/01 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/047 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/202 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 3/02 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 9/20 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/22 | (2006.01) |

【F I】

| | |
|---------|--------|
| A 6 1 K | 9/50 |
| A 6 1 K | 47/44 |
| A 6 1 K | 47/14 |
| A 6 1 K | 47/12 |
| A 6 1 K | 31/07 |
| A 6 1 K | 31/122 |
| A 6 1 K | 31/015 |
| A 6 1 K | 31/375 |
| A 6 1 K | 45/00 |
| A 6 1 K | 47/26 |
| A 6 1 K | 31/355 |
| A 6 1 K | 31/592 |
| A 6 1 K | 31/593 |
| A 6 1 K | 31/11 |
| A 6 1 K | 31/232 |
| A 6 1 K | 31/12 |
| A 6 1 K | 31/01 |
| A 6 1 K | 31/047 |

| | | |
|---------|--------|-------|
| A 6 1 K | 31/202 | |
| A 6 1 P | 3/02 | 1 0 2 |
| A 6 1 P | 3/02 | 1 0 4 |
| A 6 1 P | 3/02 | 1 0 7 |
| A 6 1 P | 3/02 | 1 0 9 |
| A 6 1 K | 9/20 | |
| A 6 1 K | 31/22 | |

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月28日(2020.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被覆粒子を製造する方法であって、前記被覆粒子が、

(a) 前記被覆粒子の全重量に対して、少なくとも1種の活性成分を含むコアを40重量%～95重量%；

(b) 前記被覆粒子の全重量に対して、少なくとも1種のワックス及び／又は少なくとも1種の脂肪を含むコーティングシステム(前記コア周囲のコーティング層を形成する)を5重量%～60重量%；

含む方法において、トップスプレー装置が前記コーティングに使用されることを特徴とする、方法。

【請求項2】

前記コアが、室温にて前記トップスプレー装置内に導入される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記入口温度が一定温度で維持される、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記入口温度が30～60の一定温度で維持される、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

溶融コーティング層コンパウンドの噴霧速度が一定に維持される、請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

前記噴霧速度が2g／分～8g／分である、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

噴霧空気圧1バール及び噴霧空気温度100～120が方法全体で用いられる、請求項1～6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】

前記被覆粒子の前記コーティングシステムが、滴点30～85を有する、少なくとも1種のワックス及び／又は少なくとも1種の脂肪を含む、請求項1～7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

前記被覆粒子の前記コーティングシステムが、モノステアリン酸グリセリン、カルナバロウ、カンデリラロウ、サトウキビワックス、パルミチン酸、ステアリン酸、(完全)水素化綿実油、(完全)水素化パーム油及び(完全)水素化ナタネ油からなる群から選択される、少なくとも1種のワックス及び／又は少なくとも1種の脂肪を含む、請求項1～8のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記被覆粒子の前記コーティングシステムが、カルナウバろう、カンデリラろう、サトウキビワックス及び（完全）水素化パーム油からなる群から選択される、少なくとも1種のワックス及び／又は少なくとも1種の脂肪を含む、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

前記被覆粒子の前記コーティングシステムが、前記被覆粒子の全重量に対して、コアを50重量%～90重量%、及び前記被覆粒子の全重量に対して、コーティングシステムを10重量%～50重量%含む、請求項1～10のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

前記被覆粒子の前記コアが、ビタミン、多価不飽和脂肪酸、カロテノイド、ミネラル、及び植物抽出物からなる群から選択される、少なくとも1種の活性成分を含む、請求項1～11のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

前記被覆粒子の前記コアが、ビタミンA、D、E、及びK（並びにその誘導体）などの脂溶性ビタミン；ビタミンB群及びビタミンCなどの水溶性ビタミン；並びに - カロテン、 - カロテン、8'-アポ - - カロチナール、8'-アポ - - カロテン酸エステル、カンタキサンチン、クルクミン、アスタキサンチン、リコピン、ルテイン、ゼアキサンチン及びクロセチンなどのカロテノイド；からなる群から選択される少なくとも1種の活性成分を含む、請求項12に記載の方法。

【請求項 14】

前記被覆粒子の前記コアが、ビタミンA、D、E、及びK（並びにこれらのビタミンのいずれかの誘導体）からなる群から選択される少なくとも1種の活性成分を含む、請求項12に記載の方法。

【請求項 15】

前記コアが、

(i) 前記固体粒子の全重量に対して、少なくとも20重量%（wt%）の少なくとも1種の脂溶性ビタミン、

(ii) 少なくとも1種の乳化剤、及び

(iii) 少なくとも1種の非還元糖、

からなる、請求項1～14のいずれか一項に記載の方法。